

『広島県病院事業経営計画（平成29年度～32年度）』の取組状況
に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書（案）
【平成30年度の評価】

令和2年1月 日
広島県病院経営外部評価委員会
委員長 谷田 一久

1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成22年5月に設置され、今年度は10年目になります。

本委員会は医療、公立病院運営、経営等に精通した各分野の専門家が委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成30年度の経営計画の取組状況について、今年度は2回（9月、12月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

2 評価結果の総括

平成30年度は、平成29年3月に策定した「第6次経営計画」の2年目に当たり、初年度の成果や課題を踏まえ、さらに取組を充実させていく年度です。

第6次経営計画では、「医療機能の強化」、「人材育成機能の維持」、「患者満足度の向上」、「経営基盤の強化」の4つの領域を取組の柱として定め、それぞれの領域については、多岐にわたって詳細な具体的取組項目が定められました。そのうえで各項目について目標となる指標を設定し、進捗状況を把握しながら、その達成に向けた具体的活動がなされたところです。

県立広島病院は、広島県全域を視野に入れた基幹病院（三次機能病院）として、救急医療、脳心臓血管医療、成育医療、がん医療の領域を中心に、高度な医療提供機能を維持強化するとともに、県下で活躍する医療人材の育成を図り、人材の不足地域への派遣を行っています。また、災害医療にも貢献するなど、いずれの取組実績をみても、県が設置する県立病院らしく、市町の枠を超えて広域を対象とし、公共性を発揮しつつ、経済性を求めるという公営企業としての社会的な役割を果たしているものと評価しました。

県立安芸津病院は、7月の豪雨災害により、病院設備に大きな被害を受けながらも医療を提供し続けることで、地域の中心的な病院としての役割を果たしました。また、高齢化と人口の減少が進む地域にあって、地域包括ケアシステムの拠点病院のあり方を模索するモデル病院として、病気の予防から治療、在宅復帰に至るまで、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組がなされました。このような取組実績は、県立病院の在り方に即しているものとして高く評価しました。

さらに、経済性の面において、両病院を合わせた事業全体の収支が豪雨災害という不測の事態の影響を受けながらも1億6千7百万円余の経常利益を計上したことは、多くの職員の皆様ならびに関係者の皆様の不断の努力に支えられたものと高く評価します。

3 評価結果

(1) 評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成30年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①- 1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 30 年度は 16 項目（うち評価対象は 15 項目）の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は●項目となりました。

経営計画において重点取組項目として設定した、救急医療、脳心臓血管医療、成育医療、がん医療の強化については、ドクターカーの導入により救急患者受入体制の強化、呼吸器センター・消化器センターなどの専門医療センターによる高度医療の取組、がんゲノム医療の開始など、広島県の基幹病院として医療水準の向上をけん引する役割を果たしているとして高く評価します。

また、TQMや5S活動に多くの職員が参加するなど、改善活動が組織文化として定着しつつあり、医療安全や医療の質の向上の基盤が整備されているものと高く評価します。そしてそのことが患者（利用する県民）の高い満足度に結びついているものと考えられます。

ただし、重点取組項目の一つである脳心臓血管医療の強化について、その一環である急性期リハビリテーションの提供件数が急減するなどの課題も散見されます。

結果として経常収支が黒字となりましたが、それに甘んじることなく、課題の解決や期待される機能の発揮にさらなる進展を期待します。

全体としては、目標指標 27 項目のうち 20 項目が目標を達成しており、未達成項目が増加したとは言え、全体としては高い水準にあると評価します。

損益面においては、10 年連続の経常黒字を達成しているものの、資金面では赤字収支が続いており、資金収支の改善を図ることが今後の経営課題の一つであることを指摘します。

また、それと並行して、県民や県下の医療施設等に対して、“県立広島病院らしさ”を示すための方法について工夫がなされることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①- 2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H30 ()はH29
評価結果『◎』とした項目	項目 (4)
評価結果『○』とした項目	項目 (10)
評価結果『△』とした項目	項目 (1)
評価結果『×』とした項目	項目 (0)
合計	15 項目 (15)

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会 評価
1 医療機能の強化 ()はH29			
1	救急医療の強化	◎	◎(◎)
2	脳心臓血管医療の強化	○	○(○)
3	成育医療の強化	○	○(○)
4	がん医療の強化	○	○(○)
5	医療安全の確保	◎	◎(◎)
6	医療の質の向上	○	○(○)
7	危機管理対応力の強化	◎	__ (○)
8	地域連携の強化	◎	○(○)
2 人材育成機能の維持			
9	医療人材の育成・確保	◎	◎(◎)
3 患者満足度の向上			
10	患者満足度の向上・広報の充実	○	○(○)
11	業務改善	◎	◎(◎)
4 経営基盤の強化			
12	経営力の強化	○	○(○)
13	増収対策	○	__ (○)
14	費用合理化対策	△	△(△)
5 決算、目標指標			
15	決算の状況	○	○(○)
16	目標指標の達成状況	-	-
総合評価			○(○)

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成30年度は13項目（うち評価対象は12項目）の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、●項目となりました。

平成30年度は、7月の豪雨災害により病院設備に大きな被害を受けましたが、地域の拠点病院として医療を提供し続けたことを高く評価します。

また、高齢化が進行する地域において、限られた医療資源の中で、訪問看護の実施や、地域のケアマネジャーとの定例会、患者の退院指導から退院後の継続支援、地域イベントでの健康相談の実施や啓発活動など、地域に根差した取組を積極的に実施しており、地域包括ケアシステムの構築における拠点病院のあり方を示そうとしている点を高く評価します。

目標指標については22項目中7項目が目標を達成できていません。豪雨災害の影響など、やむを得ない事情もありますが、別に隠れた原因・要因がないかを検証し、目標の達成に向けた努力を続けていきたいと考えます。

収支面をみると、入院・外来患者数の減少により医業収益が減少したことなどから、経常収支は大幅な赤字となっています。被災からの復旧の後には、機能発揮を伴う利用者の拡大や費用の合理化などの取組を推進して経常収支の改善を図ることが急務であると考えます。

中山間の高齢化先行、人口減少地域において、医療機能の確保と経営の安定の両立は多くの困難を伴うものと思われますが、そのような困難を乗り越えるモデルを模索し、その結果を県内の同様な地域に示していただくことを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H30 ()はH29
評価結果『◎』とした項目	項目(1)
評価結果『○』とした項目	項目(10)
評価結果『△』とした項目	項目(1)
評価結果『×』とした項目	項目(0)
合計	12項目(12)

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己評価	委員会評価
1 医療機能の強化 ()はH29			
1	専門医療・政策医療	△	△(○)
2	地域包括ケアシステム構築への貢献	○	__ (◎)
3	医療安全の確保	○	○(○)
4	医療の質の向上	○	○(○)
5	危機管理対応力の強化	○	○(○)
2 人材育成機能の維持			
6	医療人材の育成・確保	○	○(○)
3 患者満足度の向上			
7	患者満足度の向上・広報の充実	○	__ (○)
8	業務改善	○	__ (○)
4 経営基盤の強化			
9	経営力の強化	△	__ (○)
10	増収対策	△	__ (○)
11	費用合理化対策	△	○(○)
5 決算、目標指標			
12	決算の状況	△	△(△)
13	目標指標の達成状況	—	—
総合評価			○(○)

4 広島県病院経営外部評価委員一覧

(敬称略)

区分	氏名	備考(職名等)
委員長	谷田 一久	株式会社ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	木原 康樹	広島大学 副学長(研究倫理担当)
委員	香川 恵造	福知山市病院事業管理者(兼)市立福知山市民病院長
委員	木倉 敬之	慶應義塾大学 非常勤講師(元厚生労働省保険局長)
委員	豊田 秀三	一般社団法人広島県医師会 副会長
委員	平谷 優子	ひかり総合法律事務所 弁護士
委員	吉村 知子	株式会社中国新聞社 読者広報部長
委員	和田 頼知	和田公認会計士事務所 所長

5 広島県病院経営外部評価委員会 令和元年度議事一覧

○第1回〔令和元年9月9日(月) 於：広島がん高精度放射線治療センター〕

(1) 平成30年度経営計画の取組状況について

○第2回〔令和元年12月19日(木) 於：広島がん高精度放射線治療センター〕

(1) 平成30年度経営計画の取組状況の評価取りまとめについて